

参加の呼びかけ

全国の老人福祉施設関係者のみなさん

私たち「21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会」(略称：21・老福連)は、実践交流と連携を目的とした老人福祉の連絡組織として、2002年6月に発足いたしました。発足にあたって、

- ①介護保険の混乱と矛盾から高齢者を守る立場で、公的福祉の確立を目指すとともに、真の高齢者福祉、介護保険の在り方について実践も含めた意見交換を活発に行う
 - ②高齢者主体の援助実践、ケアの質、暮らしの内容を豊かにするため、「職員研究交流集会」を開催する
 - ③老人福祉の向上を目指す活動、社会保障を守る活動などを諸団体と共同、連携し積極的に進める
- これらを目的に掲げ、毎年「実践・交流・連携」を重ねてきました。

この集会は上記の目的に沿った三日間で構成されています。その中でも分科会は、参加者が仕事への誇りを持ち、勇気と元気を得ることを目的にしています。たんなる事例発表ではなく、一日かけて参加者全員がテーマに沿って本音で語り合い、今後の豊かな援助実践に繋げる内容となっています。

昨年の安全保障関連法案の成立は国民の暮らしを根底から揺るがし、戦後70年守ってきた平和まで脅かしています。5年間で二度の大震災を経験した者として、この国の岐路に生きている私たちだからこそ福祉の原点に立ち返り、誰もが安心して暮らせる世の中はどうあるべきかを今年の集会でも考えていきたいと思えます。高齢者福祉に携わる全国の仲間と一緒に学びを深めて希望と元気をもち帰れる職員研究交流集会となるよう多くの方ご参加を、日本の中央に位置する愛知県豊橋でお待ちしております。

日時

2016年11月5日(土) 13:00～17:30 ※交流会 19:00～
6日(日) 9:30～16:30
7日(月) 10:00～12:40

会場

2016年11月5日(土)・・・(豊橋市公会堂)
6日(日)・・・(豊橋商工会議所ほか2ヶ所)
7日(月)・・・(穂の国とよはし芸術劇場 PLAT)

参加費

3日間 10,000円 2日間 9,000円 1日間 7,000円
交流会(1日目夜) 9,000円

主催

●主催 21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会(略称 21・老福連)
Tel:06-6770-1600 fax:06-6770-1611
E-mail:roufuku@siren.ocn.ne.jp HP:http://www.roufukuren.jp/
お問い合わせ先 ◇現地実行委員会事務局◇
高齢者福祉施設「ケアハウスちあき」(担当:服部)
Tel:0586-81-7013 Fax:0586-81-7023
E-mail:fukushi@chiaki.com

申込方法

別紙、名鉄観光からのご案内文書をご確認の上、「参加申込用紙」に必要事項をご記入いただき、FAXにて名鉄観光にお申込ください。

★参加申込締切 9月23日(金)★

申込受付後、10月上旬より名鉄観光から参加確認書(参加券・宿泊案内など)と請求書をお送りいたします。

目的

今年は、東日本大震災と福島原発事故から5年を経過しました。今なお避難を余儀なくされている方は3県(岩手、宮城、福島)で約18万人です。生業が取り戻せない中、被災者の医療費・介護費の減免制度の継続と復活はいのちと健康に直結した問題となっています。さらに、今年4月に熊本地震が起き、現在1万人以上の方が避難生活を続けています。今後、生活基盤立ち上げまでのサポートが求められています。

「医療介護総合法」により介護給付の削減と利用者の負担増の介護保険法改定が2015年4月より実施されました。さらに6月には、政府は「骨太方針2015」を閣議決定し、社会保障の自然増を5000億円弱の増加に抑える方針を示しました。

私たちは、介護保険制度導入時の理念「介護の社会化」を見据え、私たちの目指す地域包括ケアをいかに取り組んでいくかが課題となっています。

そこで、いのちの尊厳を守り、私たちが目指す介護の魅力をみんなで語り、利用者さんをはじめとする大切な命を守り、全国に福祉の心をつなげるために、第16回職員研究交流集会で話し合ひましょう。

1 日目

<< 全体会 >>

12:00～	受付開始
13:00～13:15	歓迎セレモニー
13:15～13:25	開会挨拶・オリエンテーション
13:25～14:05	21・老福連の歩みと基調報告 講師：21・老福連事務局長 正森 克也氏
14:05～14:30	熊本地震 被災地からの報告
14:30～15:00	* 記念講演Ⅰ 『原発事故5年を経過し思うこと ～職員アンケート調査を実施して～』 講師：介護老人保健施設はなひらの 事務長 遠藤 絢一氏
15:00～15:20	休憩
15:20～17:20	* 記念講演Ⅱ 「介護・医療崩壊の深層と再生の処方箋 取り戻せ国民のための医療と介護」 講師：元外科医・NPO法人医療制度研究会副理事長 本田 宏氏
17:20～17:30	2日目の会場説明
17:30～18:00	(分科会の説明と打合せ：座長、助言者)

<< 交流会 >>

19:00～21:00	愛知と豊橋の名物をはじめとしたホテルメニューでお楽しみください。 同じ福祉従事者として、この集会ででの出会いの絆を深めましょう。
-------------	---

2 日目

<< 分散会 >>

09:00～	受付開始
09:30～16:30	分科会・分散会

3 日目

<< 全体会 >>

10:00～10:20	受付開始
10:20～11:50	記念講演Ⅲ 『人生前向き、悩みの向こうに明日が見える』 講師：タレント、ラジオパーソナリティー、歌手、柔道家 長野大学福祉学部客員教授 三四六氏
11:50～12:20	「3年後の私への手紙」
12:20～12:40	閉会・次回開催地挨拶

●基調報告 5日(土) 13:25～14:05

21・老福連 事務局長 正森 克也氏

21・老福連は介護保険法が成立した(97年12月)翌年の8月に、全国の施設長36名有志が呼びかけ、介護保険制度が施行された翌年3月に結成総会を開きました。

介護保険制度は保険(共助)の制度であり、老人福祉は社会福祉(公的責任)の制度です。制度施行から16年、今、改めて、「社会福祉」のあり方を、21・老福連の結成の経緯を振り返りながら、研究交流集会の基調報告を行います。「公的福祉の確立」と「ゆたかな援助実践」という21・老福連が掲げる共同理念の存在意義は、今いっそう大きくなっていると感じています。

●記念講演Ⅰ 5日(土) 14:30～15:00

「原発事故5年を経過し想うこと

～職員アンケート調査を実施して～

講師：介護老人保健施設 はなひらの 事務長 遠藤 絢一氏

東日本大震災での原発事故。被災から5年経過した福島を報告します。故郷に帰れない方々の思いと眼に見えない放射能。収束が見えない福島原発がもたらしている職員の苦悩をアンケートから報告し、私たちにできる支援と今後について考えていきたいと思えます。

●記念講演Ⅱ 5日(土) 15:20～17:20

「介護・医療崩壊の深層と再生の処方箋

取り戻せ国民のための医療と介護

講師：元外科医・NPO 法人医療制度研究会副理事長 本田 宏氏



「介護の社会化」を謳い文句に導入され期待された介護保険制度は、利用者の介護保険外し、利用料1割負担から2割負担制度へ、介護事業所の倒産と介護職員の離職と「介護の社会化」は遠ざかるばかりです。

医療費の削減から始まった介護保険制度の実態となぜ医療崩壊と介護制度崩壊が起こるのかを元外科医の立場でお話し頂きます。

プロの漫才師かと思うほど講演は笑いっぱなしですが、今後の展望が見え元気になります。

●記念講演Ⅲ 7日(月) 10:20～11:50

「人生前向き、悩みの向こうに明日が見える」

講師：タレント、ラジオパーソナリティー、歌手、柔道家

長野大学福祉学部客員教授 三四六氏



柔道選手としてオリンピック金メダルを目指し、明治大学でも柔道選手として活躍するが度重なる怪我により競技を断念。

吉本興業に2年在籍後渡米などを経てタレント、ラジオパーソナリティー、歌手として活動。特にラジオパーソナリティーとしては、若者の悩み相談が好評。

怪我での柔道家としての挫折や渡米等、様々な人生経験をとおしての「前向きに生きる事」へのアドバイスをいただける筈です。

こんな三四六さんから私たちに勇気と元気をもらえることでしょう。